送辞

寒さも少しずつ和らいできた今日のよき日に、人間総合科学大学をご卒業の皆様、おめでとうございます。

在校生一同を代表して、ここにお祝いの言葉を申し上げます。

私たちは先輩方と出会い、たくさんの事を学びました。講義や実習の心構えを教えて下さったことはもちろん、講義外の時間ではグループ学習を活用し国家試験に向け一生懸命に取り組む先輩方の御姿は私たちの心を動かし、勉学に、

対する意欲を向上させて下さいました。

また、臨床実習で得た経験をもとに、実習への取り組み方、医療人としての意識、たくさんの事を教えて頂きました。最近では、卒業が近づき国家試験が迫る緊迫した時間の中でも互いに励まし合い、奮闘する先輩方に私たちは大きな感銘を受けました。

今、先輩方は強い志を抱いて新しい世界へ飛び立とうとしていることと思いますが、どうか、その志を忘れることなく、人間総合科学大学で学んだことを糧にご活躍下さい。貴重な時間をこの大学でともに過ごすことができて私たちは幸せでした。

私たちは四月から最上級生になります。先輩方に見劣りしないよう精一杯勉学に励み、先輩方から学んだことを後輩へ伝えていけるように日々邁進して参ります。最上級生としての自覚と誇りを抱き、いかなる時でも見本となった先輩方の御姿をしっかりと体現していきます。

どうぞ卒業後も母校を訪ねて、元気な御姿を見せて下さい。そして、私たちを励まして下さい。心よりお待ちしております。

最後になりますが、先輩方のご健康とご活躍をお祈りして、送辞とさせて頂きます。

ご卒業おめでとうございます。

令和　二年　三月十九日

在校生代表　保健医療学部　義肢装具学専攻

三年　小沼　郁音